

【学校教育目標】 豊かな感性を持ち、主体的に学び、心身ともにたくましく生きる児童の育成



第五小だより

自分で・自分から、誰かのため・何かのため、それが未来のため

令和8年6月号

朝霞市立朝霞第五小学校

朝霞市泉水3-16-1

TEL048-462-0455

6月に「あけましておめでとうございます」

校長 田邊 雅也

新しい教育に「おめでとう」

6月の五小は、あくまで個人的に、半年早い「あけましておめでとうございます。」のように感じています。本来は、新年を迎えられたことを喜ぶ祝う挨拶なのですが、60周年を迎え、この6月から、「探究的な学び」という教育改革が動き出しているように感じるからです。「おめでとう」の語源には諸説ありますが、そのひとつに、「芽出づ（めいづ）」があります。新しい教育の芽が出て、この6月は、その芽が元気に育っていきけるような手ごたえを感じています。現場は、四苦八苦していますが、子供たちが探究的な学びで夢中になっていく「芽出づ」を感じています。

M1グランプリ in 鬼怒川で「芽出づ」

5月21日（木）、22日（金）に6年生が日光方面に修学旅行に出かけました。児童数182名という大所帯のため、今年は鬼怒川温泉の大きな宿での宿泊となり、宿には大きな食事会場（宴会場）にはステージがありました。5月初旬に、小学生版のお笑いM1グランプリを企画したところ、多くのエントリーがあり、予選会（審査員は教員）を開催するほどの大盛況でした。予選を通過できなかったグループは、どうして通過できなかったのか、どうしたら笑ってもらえるのかを真剣に試行錯誤し、再トライして本選出場しました。「自分たちのため、みんなのためにがんばりたい。」と6年生が語るほど、真剣な試行錯誤がありました。探究の「芽出づ」です。

今年もアトランティック・ジャイアントが「芽吹く」

ひまわり学級では、今年もアトランティック・ジャイアント（おぼけカボチャ）の苗を植えました。昨年度、ハロウィンまでに14kgのカボチャを育て、本物のジャック・オー・ランタンをつくりました。昨年は本当に育つのか半信半疑だった子供たちも、「今年はずっと大きなカボチャにしたい。」「みんなに喜んでほしい。」という子供たちの夢が生まれました。おやじの会（五小保護者OBを含む）がファームを整備し、子供たちも耕しました。5月に苗を植え、今、ファームでカボチャはすくすくと育っています。「自分たちのため、みんなのため」という試行錯誤です。2年目を迎えた探究は、「芽出づ」どころか、すでに「芽吹く」段階に入っています。

記念航空写真とHPリニューアル

P T Aの皆様のご協力をいただき、5月15日に60周年記念の航空写真撮影と全校児童との写真撮影が行われ、注文用の封筒が配布されました。朝霞市のマスコットキャラクター、ぽぼたんも参加し、大いに盛り上げてくれました。5月1日には記念の横断幕が披露されました。

合わせて、保護者・地域の専門家ご助言をいただき、学校HPのリニューアル作業を行いました。60年という節目を迎え、子供たちが探究的に学んでいる様子を紹介し、教育改革の様子を伝えていきたいとも考えています。こうしたことも60周年の教育改革の「芽出づ」、「芽吹く」です。

秋に「開花」、冬は「満開」に

五小は、朝霞市探究的な学び推進協力校として、生活科と総合的な学習の時間を中心に授業改善に取り組んでいます。第3期朝霞市教育振興基本計画の「豊かな心でともに未来をつくる朝霞の教育」という基本理念の具現化も図っていきます。保護者・地域、学校運営協議会、専門家の方も共に考え、汗を流し、手探りの試行錯誤を続けてくださっています。五小の60周年は、探究的な学びのはじまりです。この6月は、探究的な学びが「芽出づ」、「芽吹く」ような手ごたえを感じています。半年早いですが、「あけましておめでとうございます。」の気分です。子供たちの探究的な学びは、秋に「開花」、冬に「満開」を迎えられると確信しています。今後とも、よろしくお願いいたします。